

地下鉄短信 (第322号) 平成29年12月21日発行

編集 (一社)日本地下鉄協会 責任者 向田正博

電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187



記事 ○「平成29年度地下鉄事業現地見学会」を開催

○「平成29年度地下鉄事業現地見学会」を開催しました。

去る、12月15日(金)に、平成29年度地下鉄事業現地見学会を、普通会員及び賛助会員(21社局)28名を含む32名が参加して開催しました。

この現地見学会は、地下鉄事業者等のご協力の下に、会員各位の知識・技術の啓発の場として、また会員相互の交流の場として、平成11年度から毎年実施しているものです。

今回の現地見学会は、初めて関西地区で実施したもので、大阪東部地域から新大阪駅に至る路線の整備により、同地域の南北流動や都心部へのアクセス向上及び新大阪駅における新幹線利用の利便性向上など広域ネットワークの充実に目的として、大阪府などが出資する第三セクターの「大阪外環状鉄道株式会社」が平成30年度末に開業を目指して工事を進めている「おおさか東線」の建設現場を見学しました。

当協会の開会挨拶の後、「大阪外環状鉄道株式会社」林企画部次長から「おおさか東線」の事業概要を、同為西調整部次長から工事概要の説明がありました。(事業概要については下記参考をご参照ください。)

この「おおさか東線」は、総事業費約1200億円で、国の「幹線鉄道等活性化事業費補助制度」を活用し旅客線整備事業を行っているもので、大阪東部地域の住民にとっては、昭和38年3月の都市交通審議会答申(第7号)以来の悲願の路線となっています。

当該路線は城東貨物線の施設や用地を活用しながら複線化・電化を行うもので、今回の整備区間のうち、新大阪方の、新大阪駅から城東貨物線との接続部までの区間が新線建設として、一方の放出(はなてん)駅付近では学研都市線の改良として工事が行われるなど、配線略図等により詳細な説明がありました。



図) おおさか東線ルート図



写真) 事業概要説明会

これら概要説明の後、まず、①現場である放出駅周辺や学研都市線の乗り越し部を視察しました。寝屋川橋りょうは寝屋川堤防を 1.4m 嵩上げするため、学研都市線を新設橋りょうに切り替え、その後「おおさか東線」用の橋りょうを架設する工事が行われておりました。次に、②学研都市線の下り線が「おおさか東線」を跨ぎ、同線を挟む形の方角別複々線として放出駅に向かう乗り越し部で、完成までに線路の切り替えが6回も必要となる現場を見学しました。



写真) 寝屋川橋りょう



写真) 城東貨物線接続部付近の神崎川橋りょう

続いて、③JR 京都線乗り越し部から城東貨物線との接続部までの新設区間の現場を視察しましたが、高架橋やこ線線路橋を新設するところで、城東貨物線との接続部も含め、軌道の敷設が完了しているものの、その軌道構造が「宮団型防振マクラギ構造」を採用しているとの説明があり、地下鉄でこの工法を既に採用している東京地下鉄株式会社（旧帝都高速度交通営団）の技術力に関心が集まりました。

以上、今回の現地見学会の「おおさか東線」は、営業線内であるが故に複数年に及ぶ線路切り替え等の難工事箇所が複数存在しながらも、最後の工事が進む現場で、工事の難しさを含め、その実情を視察できたことは、極めて有意義な見学会となりました。

最後に、業務ご多忙な中、本会行事である現地見学会に貴重な時間を頂き、ご協力いただいた「大阪外環状鉄道株式会社」並びに、「西日本旅客鉄道株式会社」の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

参考) 「おおさか東線」の概要

- 昭和 38 年 3 月 都市交通審議会答申第 7 号 (新設すべき路線として大阪環状線が位置付け)
- 平成元年 5 月 運輸政策審議会答申第 10 号 (2005 年までに整備することが適当である路線として答申)
- 平成 8 年 11 月 建設主体となる「大阪外環状鉄道株式会社」設立
(大阪府、大阪市他 3 市並びに西日本旅客鉄道株式会社等の出資により第三セクターとして設立)
- 平成 11 年 6 月 工事に着手
- 平成 20 年 3 月 放出～久宝寺間が開業
- 平成 30 年度末 新大阪～放出間の開業予定

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: mukaida@jametro.or.jp